

Mizuho Daily Market Report

2023/9/11

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.39	147.83	+0.53	+1.61
EUR	1.0709	1.0700	+0.0004	▲0.0080
AUD	0.6395	0.6376	+0.0000	▲0.0080
SGD	1.3638	1.3657	▲0.0001	+0.0130
CNY	7.3452	7.3439	+0.0148	+0.0776
MYR	4.6771	4.6772	+0.0002	+0.0310
THB	35.52	35.52	▲0.09	+0.52
IDR	15341	15325	+0	+85
PHP	56.64	56.64	▲0.15	+0.04
INR	82.97	82.95	▲0.27	+0.23

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.264%	+2.0 bp	+8.5 bp
日本(10年)	0.655%	▲0.2 bp	+2.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.610%	▲0.4 bp	+6.1 bp
オーストラリア(5年)	3.825%	▲6.7 bp	+5.5 bp
シンガポール(5年)	3.150%	▲2.4 bp	+4.4 bp
中国(5年)	2.490%	▲0.4 bp	+5.7 bp
マレーシア(5年)	3.603%	▲1.1 bp	+1.6 bp
タイ(5年)	2.679%	▲0.7 bp	+13.8 bp
インドネシア(5年)	6.284%	+0.5 bp	+12.6 bp
フィリピン(5年)	6.118%	▲0.4 bp	+7.5 bp
インド(5年)	7.206%	+2.8 bp	+4.2 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,576.59	+0.2%	▲0.7%
N225(日本)	32,606.84	▲1.2%	▲0.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,237.19	+0.4%	▲1.1%
ASX(オーストラリア)	4,072.74	+0.5%	+0.1%
FTSTI(シンガポール)	3,207.75	▲0.6%	▲0.8%
SSEC(中国)	3,116.72	▲0.2%	▲0.5%
KLSE(マレーシア)	1,454.95	▲0.4%	▲0.6%
SETI(タイ)	1,547.17	▲0.2%	▲0.9%
JKSE(インドネシア)	6,924.780	▲0.4%	▲0.8%
PSE(フィリピン)	6,222.94	+0.6%	+0.7%
SENSEX(インド)	66,598.91	+0.5%	+1.9%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	284.47	+0.2%	+0.0%
金	1,919.08	▲0.0%	▲1.1%
原油(WTI)	87.51	+0.7%	+2.3%
銅	8,229.00	▲1.0%	▲3.0%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	146.00	—	148.00
EUR/USD	1.0680	—	1.0800
AUD/USD	0.6310	—	0.6410
USD/SGD	1.3570	—	1.3680
USD/CNY	7.2950	—	7.3400
USD/MYR	4.6550	—	4.6880
USD/THB	35.40	—	35.75
USD/IDR	15240	—	15340
USD/PHP	56.60	—	57.25
USD/INR	82.88	—	83.35

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は147円台前半の水準でオープン。日経平均の下落に加え、鈴木財務相の「高い緊張感を持って注視し、過度な変動に対してはあらゆる選択肢を排除せず適切な対応を取りたい」との円安牽制発言を受け、146円台半ばまで大きく値を下げた。その後、即座に147円台に戻り、上値が重い展開となった。その後は小幅な動きを続け、結局147円台前半の水準で海外時間へ。アジア通貨はPHP、SGDなど一部の通貨が堅調推移も、一週間を通じた動きとしてはドル高優勢であり、週単位の推移でアジア通貨は概ね軟調となった。

海外時間のドル円は、米金利が上昇する動きにつれ高となり、147円台半ばの水準でNYオープン。特段注目の経済指標発表を控えていない中、NY時間朝方は米金利が低下している展開が重しとなり、146円台半ばまで値を下げる。その後低下していた米金利が再度上昇している展開を受け、147円台後半まで買い戻される。NY時間午後ドル高の流れとなり高値圏で推移。終盤にかけては高値の147円台後半の水準まで上昇しクローズ。

【金利】

米債市場はカーブがツイスト・フラット化。目立った材料もなく終始もみ合う展開。翌週13日に米8月CPIの発表を控えるため、様子見が強まった可能性も。

【予想】

本日はドル円は堅調推移を予想。東京時間に主だったイベントはなく、本邦当局からの円安けん制発言が再度材料視される可能性はあろうが、その効果は大きくないことが先週確認された。ドル円は高値圏で推移する展開となるか。

【本日の予定】

(日本) 8月 マネーストックM2、M3
(日本) 8月 工作機械受注(速)
(アジア) 7月 マレーシア 鉱工業生産 / 製造業基本売上高
(アジア) 8月 中国 海外直接投資
(アジア) 8月 中国 資金調達総額
(欧州) 7月 伊 鉱工業生産
(欧州) 8月 愛 不動産建設業PMI
(欧州) 8月 愛 新車登録台数
(欧州) 8月 独 卸売物価指数
(欧州) 国際原子力機関 (IAEA) 理事会 (ウイーン)
(欧州) 独 国債入札 (6M)
(米国) 国債入札 (3Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。